

TOTO

小型電気温水器（先止め式）



湯ぽっと
REK12/25/35型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

7 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
この施工説明書では、商品を正しく取り付けいただき、使用者への危害や財産への損害および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示は、次のようになっています。
内容をよく理解して正しく取り付けてください。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。






絵表示については次の意味があります。

絵表示	意味	絵表示	意味	絵表示	意味
	一般的な禁止		アースを接続せよ		必ず実行

取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」に従って各部の点検を行い、器具のガタつきや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。


商品に同梱されている「取扱説明書（保証書付）」は、使用者に商品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。
なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

警告

 分解禁止	修理技術者以外の人、この説明書に記載された項目以外は絶対に分解・修理・改造は行わない 感電や故障の原因になります。
 水場での使用禁止	水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには使用しない 感電や故障の原因になります。
 禁止	屋内用のため、屋外には設置しない 感電や故障の原因になります。
	水・油・洗剤などがかかる位置に電気温水器本体および電源プラグ用のコンセントを設けない 感電の原因になります。
	電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
	指定する電源以外では使用しない ヒーターの断線・火災などの原因になります。
 アース接続	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントに差し込まない 火災や感電の原因になります。
	電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事 100Ω以下）工事を行う 誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
 接触禁止	雷が発生しているときは、電源プラグに触れない 感電の原因になります。

7 安全上の注意(つづき)

⚠ 警告


必ず実行 

漏電遮断器を取り付ける
感電や火災の原因になります。

熱湯用出湯口には必ず専用水栓を接続する
一般水栓を接続すると水栓が破損し、やけどや水漏れのおそれがあります。

開梱後、不要になった梱包材は速やかに処分する
段ボールやビニール袋などは子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

禁止 

タンク内が満水になっていないときは、**絶対に沸上げ運転スイッチを入れない**
空焚きとなり、故障や事故の原因になります。

機器内に長時間たまった水は、**飲料用に用いない**
健康を害するおそれがあります。

水道水以外は、**通水しない**
井戸水や造水などを通水すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。

商品に**強い力や衝撃を与えない**
故障や水漏れの原因になります。

飲料用として使用する場合は、80℃以上で使用する
健康を害するおそれがあります。

水抜きを行うときは、必ず沸上げ運転スイッチを「切」にする
空焚きとなり、故障・やけどの原因になります。

施工後、長期間使用されない場合は、水抜き後、電源プラグを抜く
水質が変化した場合、下痢・腹痛など体をこわすおそれがあります。

排水管は耐熱性のものを使用する
熱による変形、割れなどで水漏れするおそれがあります。


給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯(約20L)程度の水を捨てて
フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。

凍結のおそれがある場合は、タンク内の湯を抜いて電源プラグを抜く
凍結破損し、水漏れのおそれがあります。
「11 機器内の水抜き」を参照ください。

必ず連結配管内の水抜きがスムーズにできる勾配で取り付ける
凍結した場合、破損し水漏れするおそれがあります。

フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず、止水栓または元栓を閉めてから行う
水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

吸気栓に触れるときは、タンク内の湯を出し切って水になっていることを確かめてから行う
やけどをするおそれがあります。

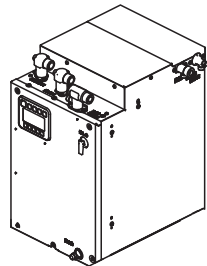

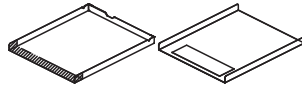

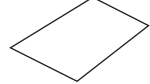
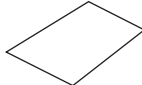

必ず実行 

おねがい

- 給水圧力は最低必要水圧(流動時)0.05MPa・最高水圧(静止時)0.75MPaです。(キッチン水栓との接続の場合最低必要水圧(流動時)0.1MPa・最高水圧(静止時)0.75MPaです。)
この圧力の範囲内でご使用ください。
(最低必要水圧未滿で使用すると流量が少なくなります。)
- 取扱説明書内の保証書に、取付工事店または販売店名およびお引渡し日を必ず記入してください。
- 必ずフィルター付き止水栓(必要別売品)を取り付けてください。
- 必ず開放式排水ホッパー(TOTO製必要別売品)を取り付けてください。
- 給水管にはフレキシブル管をご使用ください。
(鋼管などで接続されると、シール剤などが内部に入り、作動不良を起こす場合があります。)
- 空焚き、施工上の不具合は当社では責任を負いかねます。万一施工上に起因する不具合が生じた場合は、貴店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。
- ケースにテープで貼り付けられている注意書類は、必ずお読みください。
- 天井裏など日常点検ができない場所への設置は避けてください。

2 部品の確認

施工前に必ず部品を確認してください。

①電気温水器本体	②水抜きチューブ	③漏水誘導シート
	L=300mm  お客様にお渡しください	
	④開閉工具  お客様にお渡しください	⑤取扱説明書(保証書付)  お客様にお渡しください
⑥施工説明書 	⑦取付日表示ラベル 	

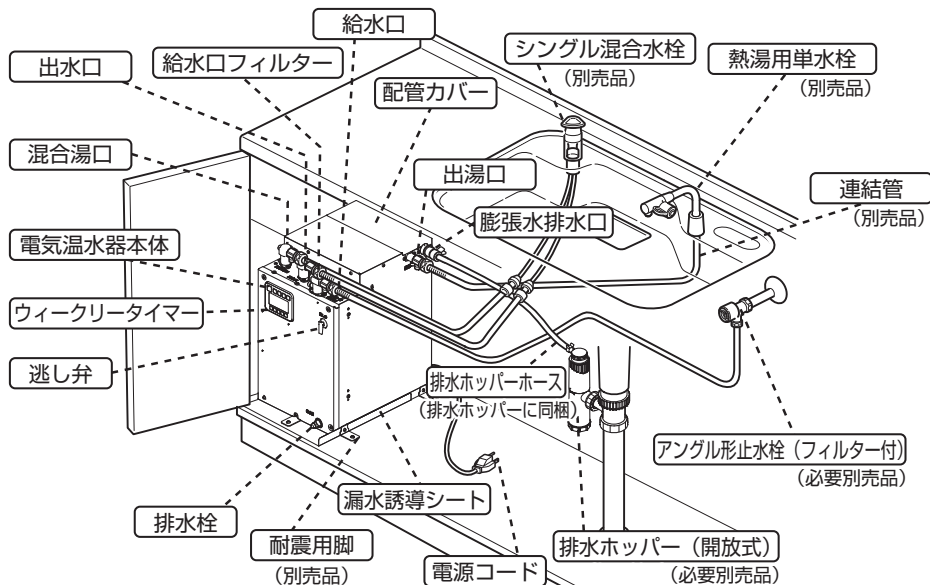
※機種により形状が異なります。

3 各部の名称

●施工例

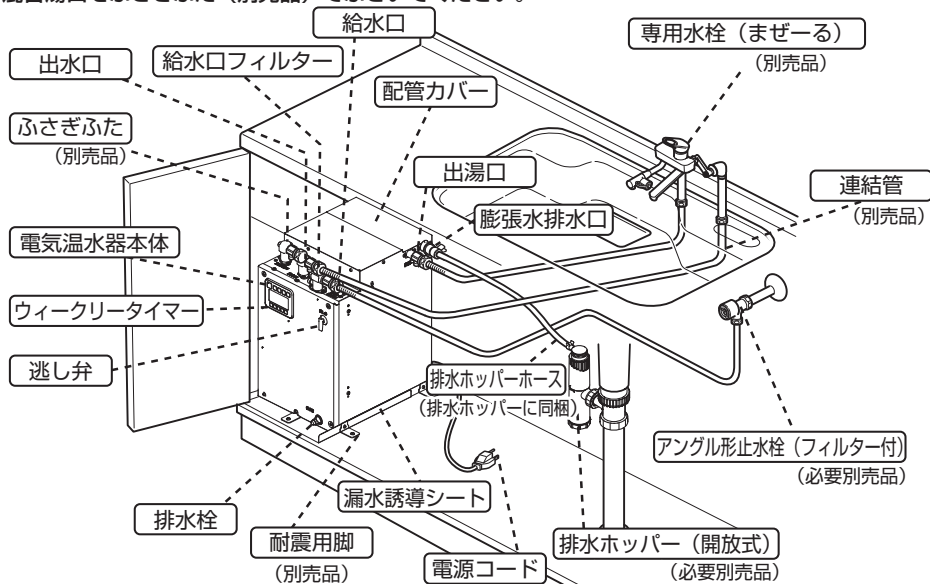
1. シングル混合水栓と熱湯用単水栓を接続する場合

※シングル混合水栓のみの場合は、出湯口をふさぎふた（別売品）でふさいてください。
 ※熱湯用単水栓のみの場合は、混合湯口・出水口をふさぎふた（別売品）でふさいてください。



2. 熱湯用シングル混合水栓（まぜーる）を接続する場合

※混合湯口をふさぎふた（別売品）でふさいてください。



4 仕様

品番	REKB12A12	REKB12A1	REKB12A22	REKB12A2	REKB25A22	REKB25A2	REKB35A22	REKB35A2
自動給排水機能	○	—	○	—	○	—	○	—
貯湯量	約12L			約25L		約35L		
定格	電圧	AC 100V		単相 AC 200V				
	周波数	50/60Hz						
電圧プラグ	125V 15A			250V 20A				
	消費電力	1.1kW	1.5kW	2.0kW	3.1kW			
給水方式	先止め式（減圧弁・逃し弁内蔵）							
沸き上がり温度	約60℃～90℃							
出湯温度	出湯口：約60℃～90℃（設定温度による）							
	混合湯口：約30℃～60℃（設定温度に応じて変動）							
沸き上がり時間（15℃→90℃）	約55分	約40分	約60分	約60分				
主要部品	ヒーター	シーズヒーター						
	減圧弁	設定値 0.08MPa						
	逃し弁	設定値 吹始め圧力 0.095MPa						
	自動温度調節器	サーミスター検知による湯温制御						
タイマー	ウィークリータイマー（温調・おまかせ節電機能付き）							
安全装置	温度過昇防止器（手動復帰式バイメタル、自動復帰式バイメタル）、温度ヒューズ							
商品寸法（幅×奥行×高さ）	250mm×320mm×402mm			360mm×420mm×401mm		378mm×420mm×479mm		
商品質量（満水時質量）	約11kg	約10kg	約11kg	約10kg	約14kg	約14kg	約17kg	約16kg
	（約23kg）	（約22kg）	（約23kg）	（約22kg）	（約39kg）	（約39kg）	（約52kg）	（約51kg）
電源コード長さ	約1.5m							
使用条件	使用環境温度	1℃～40℃						
	最低必要水圧（流動時）	0.05MPa						
	最高水圧（静止時）	0.75MPa （キッチン水栓接続時 0.1MPa）						

5 別売品一覧

品名	品番	形状	備考
★開放式排水ホッパー	RHE22H-50N		膨張水処理用 (排水ホッパーホース長さ: 800mm)
★アングル形止水栓	TL345C		給水用フィルター付き
★ストレート形止水栓	TL348CU		給水用フィルター付き
★熱湯用単水栓	T30FDU13 H		専用単水栓
	T76D		専用単水栓
★専用水栓 (まぜーる) ※1	T335D		熱湯用シングル混合水栓
	T336D		熱湯用シングル混合水栓
連結管	RHE436-15		L=150mm
	RHE436-20		L=200mm
	RHE436-30		L=300mm
	RHE436-35N		L=350mm
	RHE436-40		L=400mm
	RHE436-45N		L=450mm
	RHE436-50		L=500mm
	RHE436-60		L=600mm
	RHE436-75		L=750mm
	RHE140		L=850mm
湯ぽっと耐震用脚	RHE706		床に直接設置 (コンクリート、木の床)
	RHE708R		木製キャビネットの中
ふさぎふた	TH651		使用しない接続口をふさぐことができます。

※★は必要別売品です。

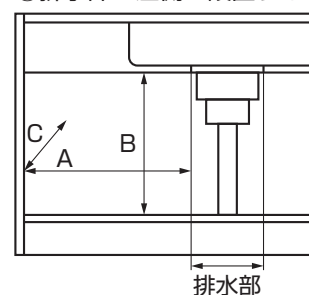
※1: 専用水栓 (まぜーる) はT335D、T336Dのどちらかを使用してください。

6 施工前の確認

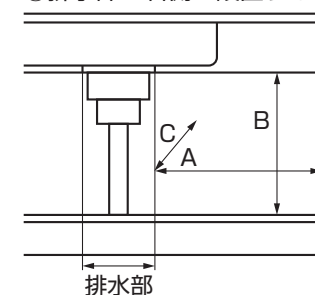
(1) 設置スペースの確認

設置には、下記のスペースが必要です。

①排水部の左側に設置する場合



②排水部の右側に設置する場合



	REK12型	REK25型	REK35型
A	約350mm	約460mm	約480mm
B	約420mm	約420mm	約500mm
C (奥行)	約390mm	約490mm	約490mm

※A寸法は、湯ぽっと(幅)+連結管取付けスペースです。

※A、B、C寸法は、シンク排水本体形状、キャビネット扉の丁番形状、包丁差し形状により、多少異なります。

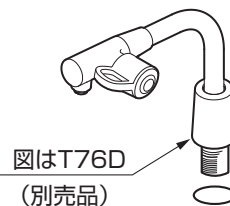
(2) キャビネット底板強度の確認

キャビネット底板に設置するため、満水時の商品質量に耐える強度が必要です。キャビネット底板の強度が不足している場合は、底板を補強してください。

	REKB12A12	REKB12A1	REKB12A22	REKB12A2	REKB25A22	REKB25A2	REKB35A22	REKB35A2
商品質量(満水時)	約23kg	約22kg	約23kg	約22kg	約39kg	約39kg	約52kg	約51kg

(3) 水栓取付穴の確認

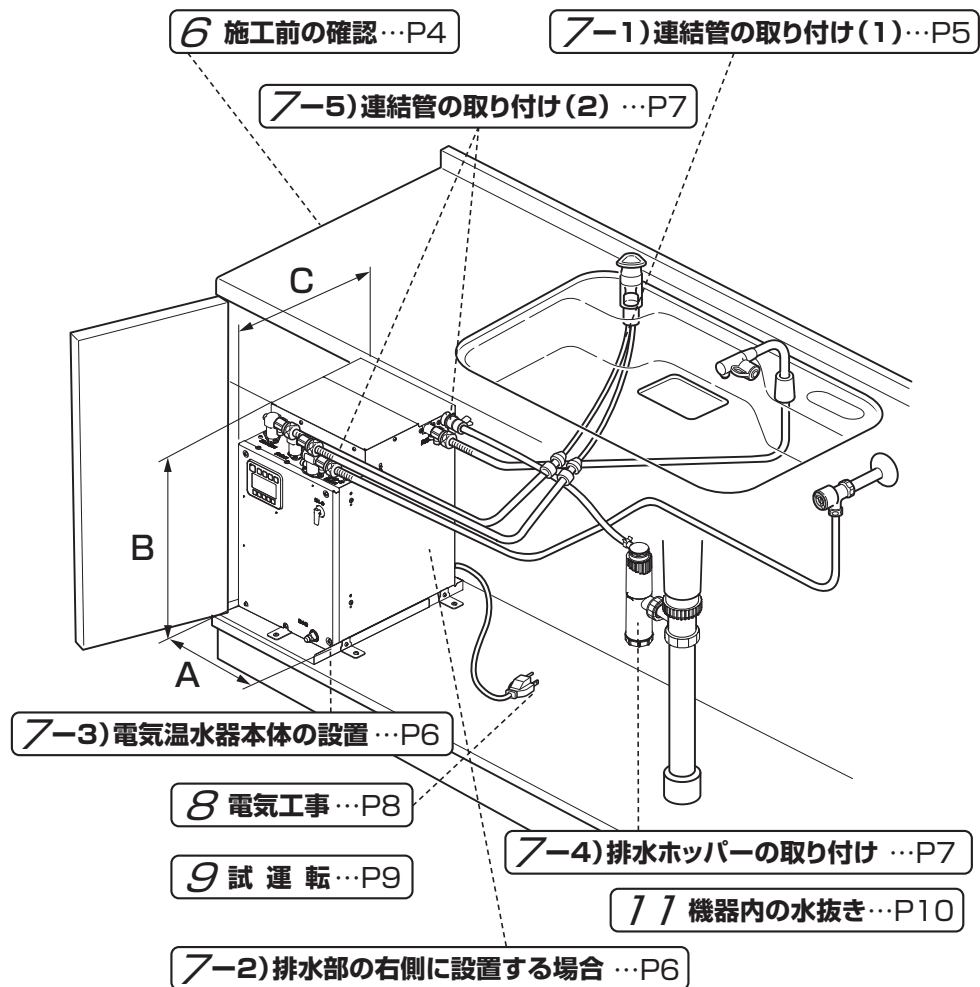
台付の熱湯用単水栓を取り付ける場合は、キッチンカウンターにサブ水栓用の取付穴が必要です。取付穴がない場合は、穴の加工を行ってください。



熱湯用単水栓(T76D)の取付穴径は、φ25mmです。その他の水栓を取り付ける場合は、取付穴径を確認のうえ、加工してください。

7 取付手順

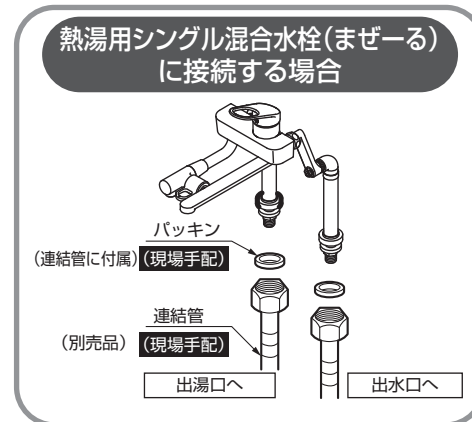
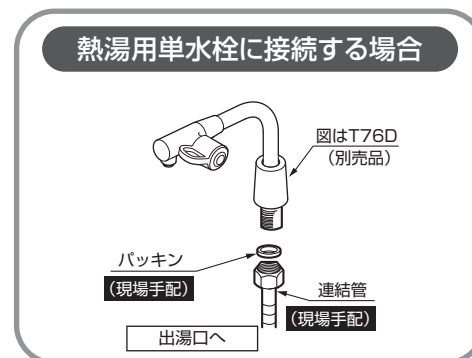
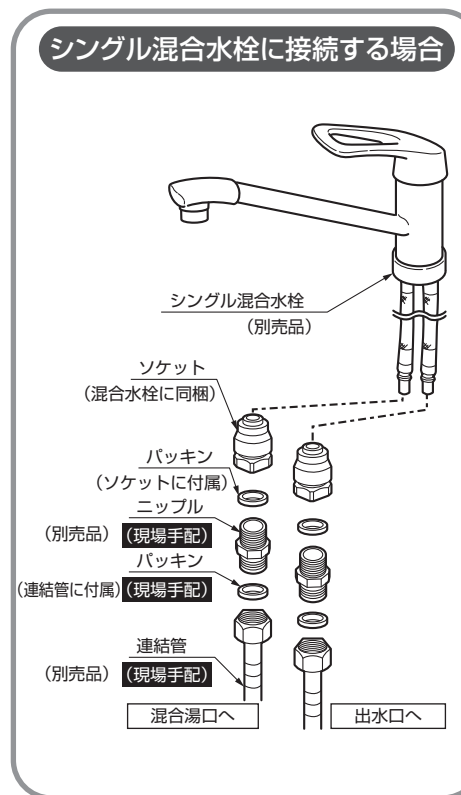
この施工図は、施工例です。取り付けは、シンクキャビネットおよびRタイプ、Lタイプにより異なります。



1) 連結管の取り付け(1)

下図の要領で水栓に連結管を接続する。

※専用水栓の取付方法は、専用水栓に同梱の施工説明書を参照してください。
※連結管、パッキンは耐熱のものをご使用ください。

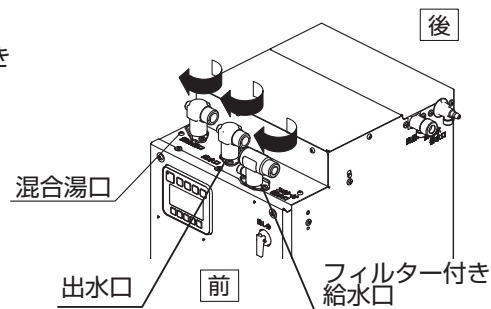


商品寸法			
	REK12型	REK25型	REK35型
A	250mm	360mm	378mm
B	402mm	401mm	479mm
C	320mm	420mm	420mm

7 取付手順 (つづき)

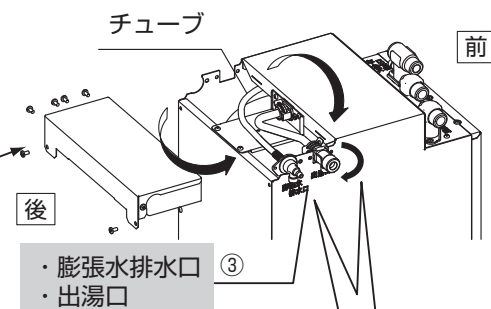
2) 排水部の右側に設置する場合 (左側に配管接続する場合)

- ①前側3カ所の接続口 (フィルター付き給水口、出水口、混合湯口) は矢印の向きに回転させる。



- ②後側2カ所の接続口ねじと配管カバー固定ねじ (6本) を外す。

- ・配管カバー (2本)
- ・膨張水排水口 (2本)
- ・出湯口 (2本)



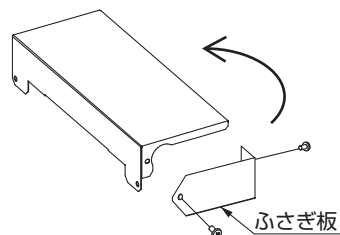
- ③接続口を矢印の向きに回転させる。

メンテナンススペースを確保するために、吸気栓が下側にくるように回転させてください

注意

チューブがねじれたり、折れ曲がらないように回転させてください。

- ④配管カバーのふさぎ板を反対側に固定し、配管カバーを本体に取り付ける。



3) 電気温水器本体の設置

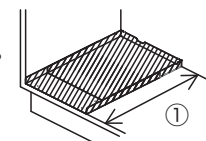
満水質量が15kgを越えるため、下記いずれかの方法で施工してください。

- ①丈夫な壁で囲うなどの転倒防止工事を現場で行う。
- ②弊社別売品 (耐震用脚) を使用して施工する。

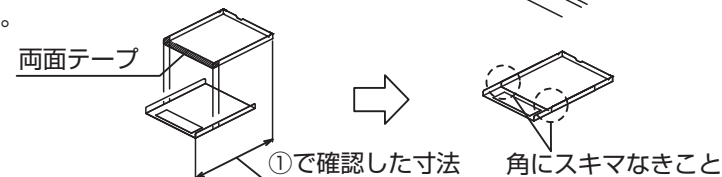
※耐震用脚 (別売品) を取り付ける場合は、耐震用脚の施工説明書をご覧ください。

漏水誘導シート (同梱品) は、万一水漏れした場合に水漏れの発見をいち早く知らせるためのものですので、必ず取り付けてください。
 ※耐震用脚を取り付ける場合は、漏水誘導シートの上からねじ止めして施工下さい (詳細は耐震用脚の施工説明書をご確認下さい)

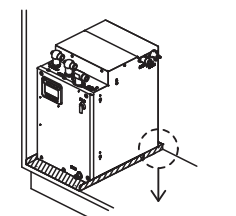
- ①2枚のシートを重ね合わせた状態で、一旦キャビネットに仮置きし、キャビネットから飛び出さない寸法を確認する。



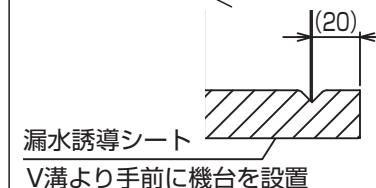
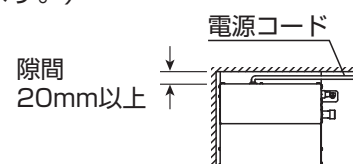
- ②シートの両面テープの台紙をはがし、もう片方のシートを貼り付ける。



- ③キャビネットに漏水誘導シートを敷き、電気温水器本体を設置する。



電気温水器本体背面とキャビネット壁面は20mm以上隙間をあけてください。
 (電源コードを通すために必要な寸法になります。)

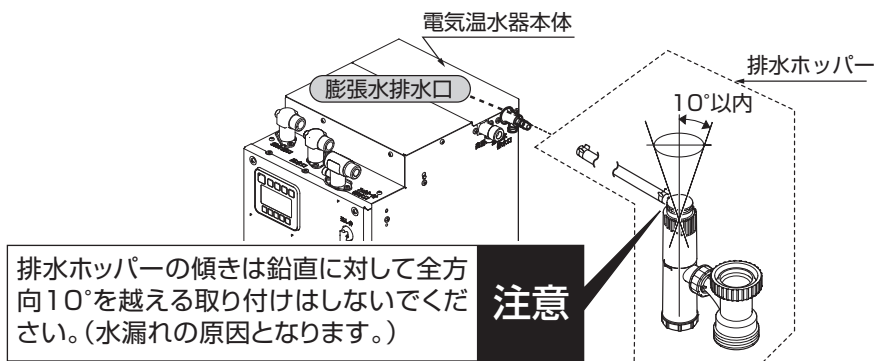


注意

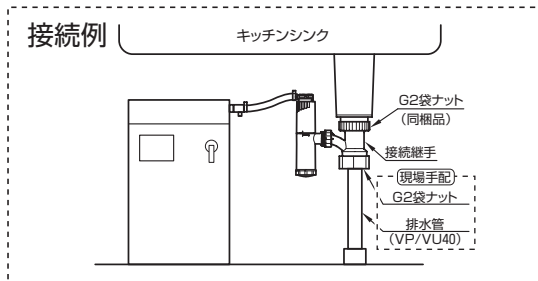
電気温水器本体はキャビネット扉や包丁差しなどに当たらない位置に設置してください。

7 取付手順 (つづき)

4) 排水ホッパー (TOTO製必要別売品) の取り付け
 下図の要領で排水ホッパー (TOTO製必要別売品) を電気温水器本体の膨張水排水口に接続する。



※排水ホッパーの取り付けは、排水ホッパーに同梱の『施工説明書』に従って取り付けてください。



5) 連結管の取り付け (2)

⚠ 注意



給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯(約20L)程度の水を捨てる。フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。



下図の要領で連結管を電気温水器本体に接続する。

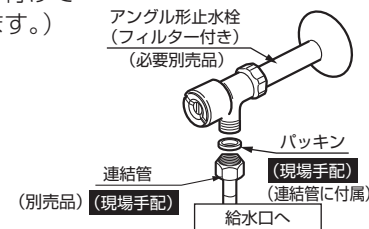
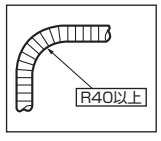
注意

給水管にはフレキシブル管をご使用ください。
 鋼管などで接続されると、シール剤などが内部に入り作動不良を起こす場合があります。
 建築躯体側配管接着剤が乾燥していない状態で電気温水器を取り付けしないでください。
 接着剤が乾いていない状態で湯を通すと湯がにおうことがあります。必ず接着剤が乾いていることを確認してから取り付けてください。

止水栓は必ずフィルター付き止水栓 (必要別売品) を取り付けください。(異物などが混入し、機器の故障の原因になります。)

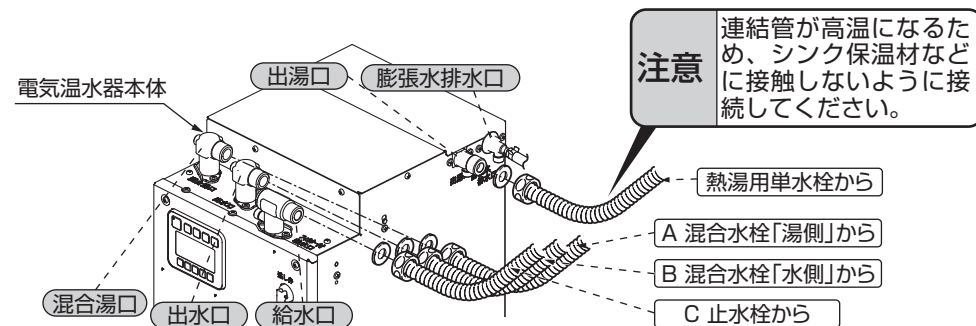
注意

連結管は、極端に折らないでください。



※連結管は、奥側から順番に接続すると作業が楽です。

シングル混合水栓と熱湯用単水栓に接続する場合



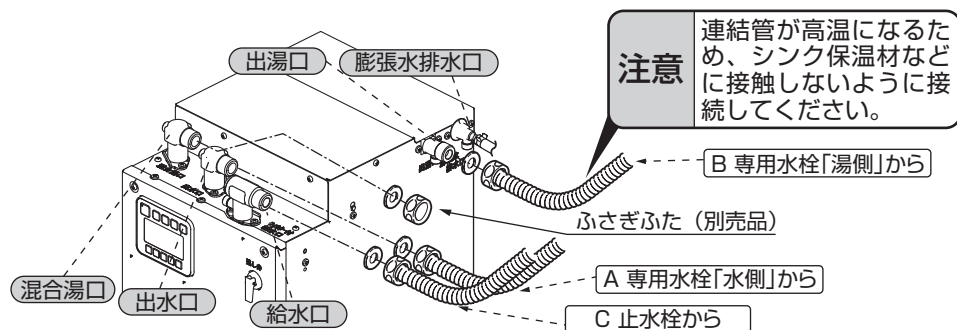
注意

連結管が高温になるため、シンク保温材などに接触しないように接続してください。

- 熱湯用単水栓から
- A 混合水栓「湯側」から
- B 混合水栓「水側」から
- C 止水栓から

7 取付手順 (つづき)

熱湯用シングル混合水栓(まぜーる)に接続する場合



8 電気工事



警告



指定する電源以外では使用しない
ヒーターの断線・火災などの原因になります。



電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う
誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。



漏電遮断器を取り付ける
感電や火災の原因になります。

- 1) 電源が規定の電圧であることを確認する。
※規定の電圧以外での使用は故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。
- 2) 接地極付電源プラグになっているので必ず、対応したコンセント工事と電源容量を確保する。

	品 番	電 圧	消費電力	電源プラグ	対応コンセント パナソニック品番
REK12型	REKB12A12 REKB12A1	AC100V	1.1kW	125V/15A 	WK3001W (露出) WF3002WK (埋込)
REK12型	REKB12A22 REKB12A2	単相 AC200V	1.5kW	250V/20A 	WK2520B/W (露出) WF2520B/W (埋込)
REK25型	REKB25A22 REKB25A2	単相 AC200V	2.0kW		
REK35型	REKB35A22 REKB35A2	単相 AC200V	3.1kW		

※品番は、電気温水器本体正面の銘板で確認してください。

9 試 運 転

⚠ 注意

⊘

タンク内に水がないときは、絶対に沸上げ運転スイッチを入れない
空焚きとなり、故障や事故の原因になります。

注意


機器の減圧弁・逃し弁にゴミが付着すると、排水ホッパーから微量の水が流れ続ける場合があります。
そのような場合は以下の操作を行ってください。

1) 逃し弁レバーを立てて、排水ホッパーから1分間ほど水を排出させ続けてください。

2) 逃し弁レバーを元に戻して、水栓を閉めたときに、排水ホッパーから水が流れ続けなことを確認してください。

(注) 流れ続ける場合は上記操作を再度行ってください。

逃し弁




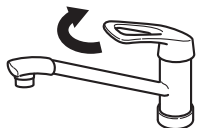
1) 電気温水器への給水

① フィルター付き止水栓を開ける。

② 水栓を開けて、タンクを満水にする。

(1) 熱湯用単水栓がある場合…熱湯用単水栓を開ける。

(2) 熱湯用単水栓がない場合…シングル混合水栓の湯側を全開にする。

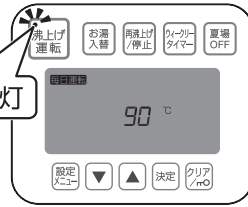
熱湯用シングル混合水栓または熱湯用単水栓の場合	シングル混合水栓の場合
<p>熱湯用単水栓を開ける</p> 	<p>湯側を全開にする</p> 

- ※ 水栓から水が出始めて出方が安定してくると、タンクは満水です。
(シングル混合水栓の場合は、タンクが満水になるまでは空気を巻き込みながら断続的に水が出ます。)
- ③ 熱湯用単水栓またはシングル混合水栓を閉める。
 - ④ 配管接続部からの水漏れがないことを確認する。
 - ⑤ 配管施工時の油などが入り、においがする場合は、混合水栓の湯側または熱湯用単水栓を開けてしばらく放水する。

2) 電気温水器への通電 空焚き禁止

- ① タンクが満水になったことを確認し電源プラグをコンセントに差し込む。
- ② 沸上げ運転スイッチを押して、LEDが点灯することを確認する。

※ 設定温度を変更する場合は、取扱説明書を参照してください。



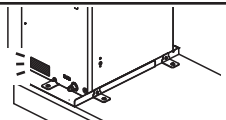
LED点灯

ウィークリータイマー

注意

湯を半分程度使うと表示パネルの温度表示部が点滅し、沸き上げ設定温度を表示します。このとき水栓から出る温度と表示パネルの表示温度が異なる場合があります。

※ 同梱されている取付日表示ラベルにお取付け日を記入し、商品本体の見やすい場所に貼り付けてください。



注意

止水栓、給水口のフィルターにゴミが詰まると故障の原因になります。試運転後、フィルターの掃除を行ってください。
掃除の方法は、取扱説明書を参照してください。

減圧弁、逃し弁は消耗品です。劣化により機能の低下や水漏れする可能性があります。必ず定期的に交換するよう、お客様に説明してください。
交換時期の目安は5年程度です。

吐水させると音や振動がする場合があります。
そのような場合は、止水栓で調整したり、減圧弁(一軸減圧弁など※現場手配)を取り付けてください。

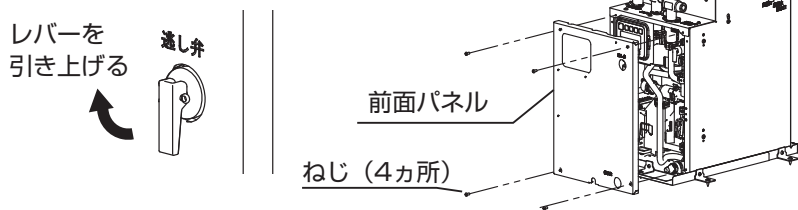
10 "88:88"リセットのしかた

沸上げ運転スイッチのランプと表示部に"88:88"が点滅している場合は、空焚きが考えられます。その際は、以下の処置を行ってください。

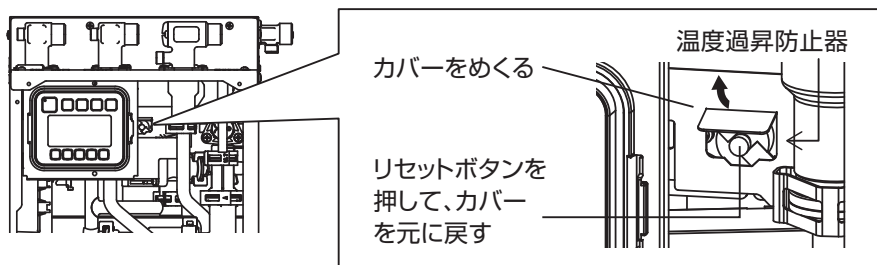


- ①電源プラグをコンセントから抜く。
 - ②タンクに水を入れる。
 - ③電源プラグをコンセントに差し込み、沸上げ運転スイッチを「入」にする。
- ※上記の処置を行っても湯が沸かない場合は、次の手順で温度過昇防止器をリセットしてください。

- ①沸上げ運転スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜く。
- ②フィルター付き止水栓を閉める。
- ③4カ所のねじを外し、逃し弁の手動レバーを引き上げて前面パネルを取り外す。



- ④温度過昇防止器を覆っているカバーの切り込み部をめくる。
- ⑤タンク側面の温度過昇防止器のリセットボタンを押して、カバーを元に戻す。



- ⑥前面パネルを取り付ける。
- ⑦逃し弁レバーを元に戻す。
- ⑧フィルター付き止水栓を開ける。
- ⑨電源プラグをコンセントに差し込み、沸上げ運転スイッチを「入」にする。

7 7 機器内の水抜き

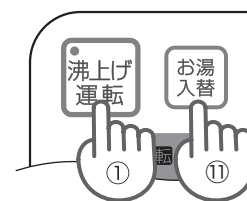
注意



凍結のおそれがある場合は、タンク内の湯を抜いて電源プラグを抜く凍結破損し、水漏れのおそれがあります。
 施工後、長期間使用されない場合は、水抜き後、電源プラグを抜く水質が変化した場合、下痢・腹痛など体をこわすおそれがあります。

《水抜き手順》

- ①沸上げ運転スイッチを「切」にする。
- ②シングル混合水栓の湯側または熱湯用単水栓を開け、湯が水になったら水栓を閉める。
- ③フィルター付き止水栓を閉める。
- ④逃し弁レバーを引き上げる。
- ⑤電気温水器の排水栓に付属の水抜きチューブを差し込み、排水栓を開ける。

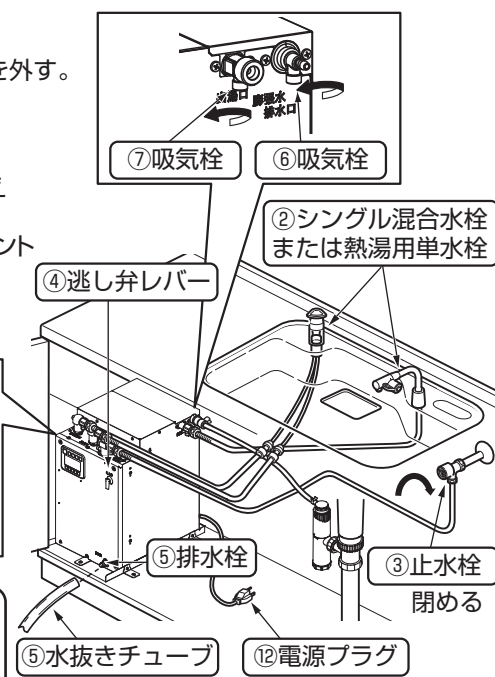
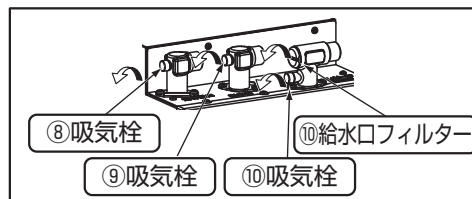


<排水にかかる時間>

貯湯量	12L	25L	35L
排水時間	約8分	約15分	約20分

注意 水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。

- ⑥膨張水排水口の吸気栓を開ける。
- ⑦出湯口の吸気栓を開ける。
- ⑧混合湯口の吸気栓を開ける。
- ⑨出水口の吸気栓を開ける。
- ⑩給水口の吸気栓および給水口フィルターを外す。
- ⑪排水栓から水が出なくなったらお湯入替スイッチを3秒間長押しする。
 (お湯入れ替え機能ありタイプのみ)
 ※30秒間「CL」が表示され、お湯入れ替え経路の水抜きを行います。
- ⑫「CL」表示が消えたら電源プラグをコンセントから抜く。
- ⑬機器本体の排水栓・吸気栓(5カ所)・給水口フィルター、逃し弁レバーを閉める。



配管の凍結予防
 ●沸上げ運転スイッチが「入」の状態でも配管が凍結する場合は、必ず給水、出水、出湯側の各連結管と排水管に保温材または、ヒーターを巻いてください。